

広尾自治会会長立候補にあたり

レクセルプラッツア南行徳居住
理事2年
広尾自治会

齋藤 清 (68歳)

私は広尾自治会規約で提唱されている第3条の精神を基調として地域のご意見を反映させる仕組み作りと自治会運営に全力をあげますことを表明したいと思います。

自治会活動のあるべき姿についてのべますと規約を遵守し役員の皆様方の献身的な努力と、理解しあう協調性により正常で適正な自治会運営が営まれるものだと思えます。

会を司る長が権限の拡大や規約の拡大解釈を行えば適正な自治会運営は成立いたしません。

現在の自治会は、役員間の不協和音が表面化するに至り三役会議が開催されない状況となっております。

その原因は2/19第四回理事会において協議されました。

1/22の三役会議において会長より吉野、成田副会長を次期は選任しない旨を吉野さんに対し不規則発言があったと報告されました。

役員の内訳は自治会規約第12条で明記されています。

その内容は会則に違反あるいは会の対面を汚す行為があると認めたときに総会の議決により解任することができると定めています。

会長からの趣旨説明を受け理事会で協議した結果、違反、会の対面を汚す事項にはあたらないとの見解になりました。

私は今回の出来事はパワーハラコメントにあたるものであると考えますし絶対にあつてはならない行為だと思えます。

会員の皆様は、どのように考え判断されますでしょうか。

ところが2/21付、会長より各理事様への文章が配布されました。第四回理事会において感情的になり不適切な発言、行動を行ったことを反省しておりますが、引き続き会長として頑張るとの決意表明でした。

私は正直言って驚きました。

自治会運営の停滞、混乱を招いた責任、規約の拡大解釈など本当に長としてあるべき姿なのだろうかと疑問を感じざるを得ません。

又、この一連の出来事を認めることは民主主義精神が担保されないと感じる。立候補を決意した所存でございす。

広尾自治会は先人達が築き上げた「三十二年の歴史とあゆみ」がございす。

私は功績を継承しながらマンネリ化した事業内容の見直しと新規事業を創造し拓かれた自治会活動をめざりたいと考えます。

具体的には

一、組織体制の確立と各理事の役割と分担の明確化

一、各種会議の定例化と報連相の徹底

一、新井小、南行徳中との交流

一、内匠会との連携強化

一、会長手当の見直し

一、自治会館設立に伴う委員会の設置

一、通年行事の継続

などを全力を上げて取り組みます。

そして会員の皆様の快適で良好な日常生活維持向上を願いつつ「魅力ある活力のある街づくり」、「安心と安全な街づくり」をめざします。

微力ではございますが、ご理解賜りご支援頂きますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十九年三月吉日